

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp

ホームページはこちら



2024年7月15日 No534
JR 東日本労働組合
長野地方本部
発行者: 臼井幸一
編集: 情宣部

みどりの窓口が復活!!②

繁忙期だけの増設で問題は解決するのか？

夏の繁忙期に計50駅を対象として「みどりの窓口」を増設することになりましたが、この間「みどりの窓口」にお客さまが殺到し大行列となり、ご迷惑をお掛けしている事態が発生していたのは「繁忙期」だけだったでしょうか？「繁忙期」ではない時期でもお客さまにご迷惑をお掛けする事態となっている現状の中「繁忙期」だけの増設で問題は解決するのでしょうか？

東日本ユニオンは、申第28号『ご利用実態に即した「みどりの窓口」等の販売体制の再構築に関する申し入れ』を会社側に提出し、団体交渉において議論を行っています。

東日本ユニオン申第28号

ご利用実態に即した「みどりの窓口」等の販売体制の再構築に関する申し入れ

1. 「みどりの窓口」の縮減計画を中止し、ご利用実態に合わせて再設置すること。
2. 出札業務に特化した社員の要員を増とすること。
3. 年度初における学校等への定期券出張販売を再開すること。
4. 「駅たびコンシェルジュ」において、きっぷの発売を行えるようにすること。

増設のための「要員確保」は必要不可欠!!

削減した「みどりの窓口」を復活させることによって、「現場で働く社員の負担が増す」ということがあってはなりません。現場実態に則した「要員確保」を確実に実施し、現場第一線で働く社員が「働き甲斐」を感じて仕事ができるように今施策を進めていくことが会社側に問われています。

必要なのは「スピードアップ」ではなく
実態に合わせた販売体制をつくることだ